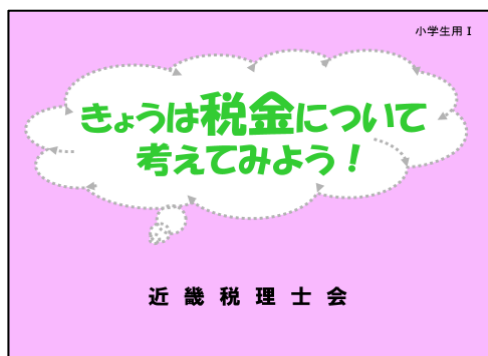


「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用



内容にボリュームがありますので、時間がないときは、何を省くのかを予定してください。

(例えば憲法の部分など。)

無理に全部を説明するより、時間的に余裕を持った構成にしてください。

また、自分の言葉で伝えないと相手に伝わらないものです。自分でじっくり言葉で伝えてください。

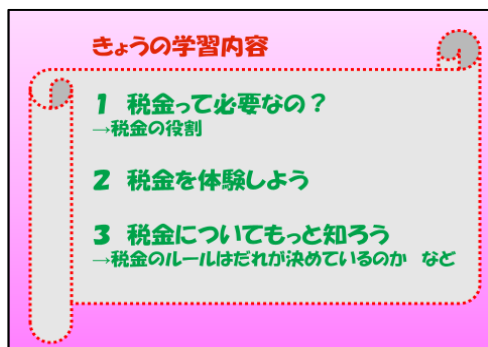
憲法を説明する場合は、学校との打ち合わせの際、授業の進捗度を確認して、授業で憲法を教えておいていただく、あるいは復習をしていただくなど、学校側と連携して進めるようにするとよいでしょう。

【コメント例】

みなさん、こんにちは。

私は税理士の といいます。

今日はみんなと税金について一緒に考えてみたいと思っています。



1 税ありきではなく、税が必要なものかどうか、というところからはじめる。

2 自分たちが必要な公共財を作るために、皆で出し合う税金の額をディスカッションしてもらおう。

(民主主義・租税法律主義・公平を体験。)

3 体験したことをもとに、現在の日本の状況と税について説明する。

私たち一人一人社会・税について考えるべきであることを伝える。

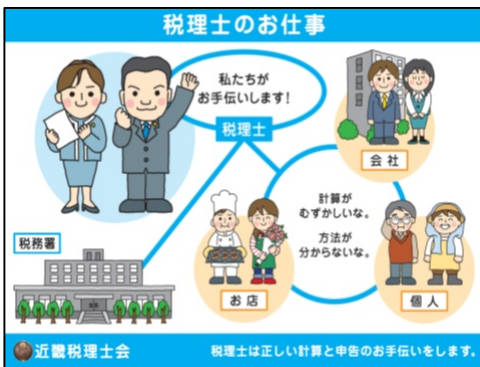
【コメント例】

今日は、この3つのテーマで進めていきます。(読む)

最後にはアンケートをお願いしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用



職業紹介と同時に申告納税制度について説明する。

【コメント例】

けどその前に... 自己紹介を兼ねて、私の職業である税理士についてお話します。

みんな税理士って何する人か、知ってるかな？ 知っている人？(挙手)

では、税理士がどんな職業なのか、紹介したいと思います。

簡単なたとえでは、...病気になったら お医者さん...

法律のことでわからないことがあったら 弁護士さん...

税金のことでわからないことがあったら 税理士

絵を見てもう少し説明してみましよう。

お店の人や会社は税金を国に支払わなくてははいけません。それって自分で計算して自分で支払うんです。

(「申告納税制度」といいます。)

その計算が難しいとき、とか、お店がいそがしいから、というときに税金のプロの税理士が代理で税金の計算をしたり、お手伝いをしています。

国に支払うといいましたが、具体的には「税務署」という税金を集めるお仕事をしているお役所に支払うこととなります。



【コメント例】

では、本題にはいります。

まずは質問です。税金って必要なのでしょうか？

(発言があれば聞く。)

では、どんな税金があるのか、税金がどのように使われているか、見てみてから、考えてみましょう。

税金にはどんなものがあるのでしょうか？

- 小学生のみんなも支払う税金の代表は**消費税**ですね。
- 108円の品物を買ったと**8円**は消費税として支払っています。
- 支払った消費税はお店の人が私たちに代わって国に納めてくれます。

他にはどんな税金があるのかな？
知っている人は手をあげて発表してね！

テーマ1
税金ってなあに？

導入として、小学生のなじみのある消費税を取り上げる。

【コメント例】

(タイトルの後 挙手を促す。)

(2つめの矢印後)

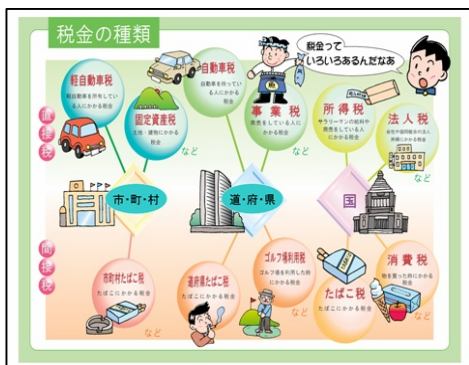
消費税はモノを買った時、小学生も支払います。つまり、広く浅く、皆おんなじ税率で支払う、という性質を持った税金です。

他にはどんな税金があるのかな？

(挙手を促す。)

「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用



所得課税・資産課税・消費課税に分類して、いろんな角度から税金を支払うしくみとなっていることを伝える。
(直接税・間接税については、簡単に触れる程度。)

税金の種類

日本に税金は何種類あるでしょうか？

約50種類

いろんな税金があるんだね！
どうしてたくさんの種類があるのかな？

税金の種類が多いことは、公平のためのしくみ。
【コメント例】
先ほど税金が 11種類だけ、紹介されていましたが、さて日本に税金の種類はどれくらいあるでしょうか。
三択クイズです。
約 25種類 約 50種類 約 1,500種類
約 50種類の「約」とあるのは自治体によって、独自の税金の制度があることもあるからなんです。
たとえば、兵庫県には「県民みどり税」というものがあります。災害に強い森づくりや、環境をよくするため木を植えたりするのに使われています。
どうしてたくさんの種類があるのかな？
その答えはまた後で出てきますので、楽しみにしておいて下さいね。

税金で作られているものにはどんなものがあるのかな？

次の中から税金で作られているものを当ててください。

ここで問題です

公立小学校 (X)
コンビニ (X)
ゴミ処理施設 (O)
警察署 (O)
テーマパーク (O)

テーマ！税金って必要なの？

順次クリックして ×クイズを行う。全員で ×と答えてもらい、ここはあまり時間をかけないのがおすすめ。
【コメント例】
もし税金が無くて、これらの公共サービスのない世界ってどうなっちゃうでしょうか？
火事が起こっても……？ ドロボウがいても……？ ゴミを出しても……？


「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用

税金クイズ

→ 児童1人1ヶ月、小学校(公立)に通うために使われる費用はどれくらいでしょうか？

① 約 3万2千円
② 約 5万2千円
③ 約 7万2千円



テーマ1
税金って
必要なの？

三択クイズは知識を伝えるためというよりは、児童とのコミュニケーションをはかり、後のディスカッションがスムーズに進むように入れている項目です。

ディスカッションにより多くの時間を割きたいという場合は、省いていただいても結構です。コメント ABC は適宜選択して活用してください。

【コメント例】

答えは ② です。

1人が、小学校1年間、通うのに必要な費用、つまり教科書代・学校の建設費・机、いすの購入費、先生のお給料などで約863,000円の税金が使われているそうです。(平成24年度)

【コメント例 A】(教育・生きていくための基礎を学ぶことを享受できていることを示す)

宿題やテストが嫌な日もあるかもしれないけど、平等に教育を受けることができるのは、素晴らしいことですね！

教育を受けることができるなんて普通のこととってしまうけど、世界に目を向けるとそうではないこともあります。

教育を受けていると、自分の力で考えて、自分の力で生きていくことができます。

学校に通うことのできる環境にいる皆さんにはしっかり学んで欲しいと思います。

【コメント例 B】(金額の大きさを示す)

義務教育の6年間でどれだけの金額になるのか計算してみましょう。

【コメント例 C】(身近な実際のモノで示す)

みんなの教科書の裏を見てみてください。税金で無償で支給されています、と書かれていますね。

参考HP

<https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/gakushu/hatten/page06.htm>

「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用

まとめ：税金って必要？

→税金は…

- 私たちの生活を支えてくれるものに使われています。
- 健康的・文化的・安心・安全な暮らしのために、なくてはならないもの。

テーマ1
税金って
必要なの？

テーマ1のまとめ。
社会共通の利益の実現のため、みんなが税金を出し合う(責任を負う)ことを理解させる。
ただし、「きょうは税金について考えてみよう！」というタイトルにもあるように、結論を押し付けないように、考えさせるように工夫する。

【コメント例】

さて、税金って必要なのか、皆さんそれぞれ、答えはできましたか？

(ひとつ目の のあと) さきほど、税金でできているものを色々確認しましたね。

(ふたつ目の のあと) ...だと思いますが、皆さんもそう思いますか？

ここまでで、税金は必要なのか、また、なぜ必要なのかを考えました。

テーマ2
税金を
体験しよう



ここまでで 15 分

それではテーマ2「税金を体験しよう」に移ります。

このクラスを日本の国として考えてみましょう

→まず、クラスをグループに分けます。

→次に、各グループに電卓を配布します。

ここで
問題です

テーマ2
税金を
体験しよう

・6グループに素早くなれるよう、あらかじめ先生と打ち合わせしておく。

・電卓を配布する場合は、このタイミングで配布。(最初に渡すと遊んでしまうため。)

【コメント例】

グループごとに早くまとまってくださいね。

グループごとに代表者を選んでもらいます。

ここで電卓と計算用紙を配布します。

「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用

問題


→ みなさんの1年間の収入は1000万円とします。

→ この国にはまだ小学校がありません。

→ 小学校を作るのに9000万円が必要です。

→ では、みなさんがいくらずつ税金を払えば小学校を作ることができるでしょうか？

テーマ2
税金を体験しよう



・収入が同じならば支払う税金も同じであるという水平的公平を理解してもらおう。

グループで考えて、代表者に答えてもらう。

・実際の学校建設に9000万円かかると考える児童もあるので、この金額は例であることを伝える。

【コメント例】

9000万円というのは実際の学校より安いですが、小さな国ということで、9000万円としておきましょう。

また、計算を簡単にするために、このクラスに30人いるとして計算してください。

クラスが30人ならば、 $9,000万円 \div 30人$ で一人あたり300万円となります。

みんな割り算をしようと思いました？それってすばらしいことです。

皆同じ、平等に出し合おうと思ったわけですからね！

レベルアップ、第2問！

→ それでは以下のように収入が違う場合、どうすればいいでしょう？

①グループの収入	100万円
②グループの収入	200万円
③グループの収入	500万円
④グループの収入	700万円
⑤グループの収入	1000万円
⑥グループの収入	3000万円

それぞれ1人の収入です。

テーマ2
税金を体験しよう

収入が異なる場合はどうしたらいいのかを考えることを通して、公平に出し合う体験をする。

レベルアップ、第2問！

→ 小学校を作るのに必要な費用は9000万円です。

→ グループごとに相談をして、いくら税金を払うのかを決めてください！


なぜその金額にしたのか、理由も発表して下さいね！

グループの収入	100万円
グループの収入	200万円
グループの収入	500万円
グループの収入	700万円
グループの収入	1000万円
グループの収入	3000万円

それぞれ1人の収入です。

ここで集計をしてみよう！！

テーマ2
税金を体験しよう



(発表してもらった金額の集計は、板書でもよいが、excelを使用すると効率的。excelはあらかじめパワーポイントの下に開いておく。)

・ディスカッションが進んでいない時にはヒントを出す。

収入が違って同じ金額を出し合う？

収入の内、同じ割合の金額を出し合う？

収入が多い人は、大きい割合の金額を出す？ 所得税の考え方


「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用

お金が足りない場合

→ グループごとにどうしたらいいか考えてみてください。

それでは代表の人に発表してもらいましょう。



テーマ2
税金を体験しよう

お金が足りない場合について話し合い、発表してもらおう。どんな意見も、否定せず、まず受け止める。(時間が足りないようだと挙手による発表に変えてもよいでしょう。)

よく出る意見

・お金持ちにもっと出してもらおう ・借金する ・小さい学校にする ・お金をためる など

【コメント例】

(集めた金額が9000万円以上となった場合)今回は足りましたが、もし足りなかったときどうするか考えて下さい。

(意見がなかなか出ない場合)難しかったら、買いたいものがあるけど、お小遣いでは足りないときどうするのか、で考えてみてくださいね。


いろいろ、いい意見が出ましたね！

皆さんに考えてもらったのは、実は大人も今、直面している問題なんです。

まとめ：税金を体験して

→ みんなで税金を出し合うには、他の人の立場も考える必要がある。

→ 公平に出し合うように考える必要がある。



実際の税金のしくみも**公平**になるように考えられているんだよ。

テーマ2
税金を体験しよう

他人の立場も考える(思いやり) 基本的人権の尊重

【コメント例】

みんなの能力が同じとき、みんな同じ金額を出し合うとうまくいきました。

でも能力が違うときには、自分の利益を優先することなく分け合う、「公平な方法」を目指していくことが必要になってきます。

他の人の立場を考える「思いやり」の気持ちが必要なんです。実際、税金のルールは「公平」になるように、工夫が色々されています。

先ほど、税金の種類が約50種類あると言いました。実は種類が多いのも公平のためなのです。

- ・ 今のように、収入をもとに計算し、収入の多い人が高い税率で多くの税金を支払うしくみの所得税
- ・ また、買い物をした金額をもとに計算し、みんなおんなじ8%の税率で計算する消費税
- ・ 家や自動車を持っている人が払う税金

いろんな角度からの集め方を組み合わせることによって、公平に出し合うことができると考えられます。

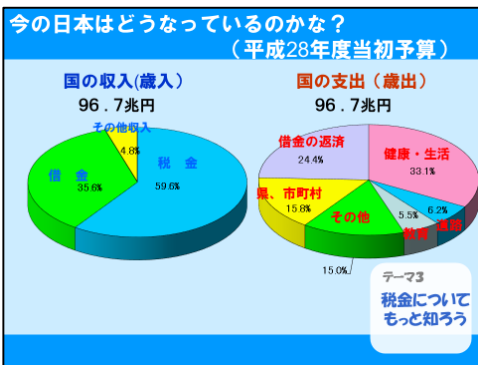
それでは税金体験はここまでにして、実際の日本の税金はどうなっているのか見ていきたいと思います。

「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用



ディスカッションが長引いてしまった等、時間が足りなくなった場合は、詰め込んで早口で全てを話すより、思い切って伝える内容を減らした方が、わかりやすく伝えることができます。
例えば、このスライドから4ページを省くなどしてください。



【コメント例】
先ほど、お金が足りない時どうするか、考えてもらいましたが、これが日本の財政の現状です。
歳入 国債発行に依存している割合について
歳出 国債の返済 1/4
医療・年金 1/3(これから少子高齢が進む)

税金をどれだけ出し合うのかは、だれが決めるの？

税金をどれだけ支払うのかは、法律で定められています。(所得税法・消費税法)

その法律は、国会で国会議員が話し合っていて決めています。つまり...

選挙によって選ばれた、国民の代表者で決めているってこと！

税を出し合うルールは、国民が決めているんだね！(憲法84条)

租税法律主義
84条 あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする。
【コメント例】
税金をどれだけ出し合うのかを決める体験を、皆さんに先ほどしてもらいました。
では、実際日本ではどんな風に決めているのでしょうか。(パワーポイント読みながら補足)
法律とは、所得税法・法人税法・消費税法といった法律です。
民主主義って知ってますか？みんなで物事を決めるとする考え方ですね。
(国家や集団の権力者が構成員の全員であり、その意思決定は構成員の合意により行う体制・政体を指す。)

選挙 国会議員(国民の代表者) 国民の代表者の話し合いにより決められる法律 国民の意見により法律ができる

国民一人一人が考えて決めている豊かで、安心な暮らしを送るための負担の在り方。これが税金。

「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用

税金をどう使うのかは、だれが決めるの？


→ 税の使いみちも、国会で国会議員が話し合って決めています。つまり…

選挙によって選ばれた、国民の代表者で決めているってこと！

税をどう使うかも、国民が決めているんだね！
(憲法83条)

→ **税金を出し合うルールをどうするのか、集めた税金を何に使うのがいいのか、国民ひとりひとりが、つまり私たちが考えないといけないんだね。**

テーマ3
税金について
もっと知ろう



財政民主主義の原則

83条 国の財政を処理する権限は、国会の議決に基いて、これを行使しなければならない。

【コメント例】

税金をどう使うのか…さきほどの体験では、小学校って決まっていたんですが、これについても考える必要があります。

多くの人が納得のいく使い方を、決めなくてはならないですからね。

(緑字のあと)

18歳になったら、選挙に行って自分の考えを国に届けなくてはなりません。

18歳になって突然できることではありませんから、今から、社会について勉強しなくてはなりませんね。

憲法について考えてみよう

→ 憲法って、全部で103条！

→ **国がすべきことは100条。**
生命・自由・幸福追求権(13条)、法の下での平等(14条)など
第11条 国民は、すべての基本的な権利の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的な権利は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えらる。

→ **国民がすべきことは3条。**
教育を受けさせる義務(26条)、勤労の義務(27条)、納税の義務(30条)
これらを「国民の三大義務」といいます。

→ **憲法で、国は国民の権利を守るように定められています。国民の方が守るべき責任の3つのうちの1つが納税です。**

テーマ1
税金って
なあに？

憲法の本質は、国民の自由・人権を保障するために国家権力を制限するところにある。

三大義務は、民主主義的国家を運営するために必要なこと。(「義務」ばかりが強調されないように説明。)

(小学校で学習する内容と、租税教室の内容を結びつける。)

【コメント例】

最近では憲法を改正するかどうかの議論が報道番組でされているのを、皆も知っていると思います。

憲法は今日の税金のテーマにも関係するんですよ。

(2つめ矢印のあと)

憲法は、みんな(国民)を、守るためのものです。

国民主権(国民があるじ、主人公) 私たちが法律をつくり、私たちがその集めた税金の使い道も決めるんだね。

基本的人権の尊重 税金の法律は公平で、みんなのことを考えたものでなくてはならないんだね。

憲法とは国民の権利について決められているものですが、3条だけ国民側が守るべきことも決められています。

(3つめ矢印のあと)

ここで今日のテーマ、税金に関する「納税の義務」が出てきました。みんなで作る日本、みんなで税金を出しあってみんなの必要なものを作るんですよ。

(4つめ矢印読む)

「きょうは税金について考えてみよう！」

小学生用

国民の三大義務 国民に対する倫理的指針としての意味、立法による義務設定の予告としての意味を持つにとどまる、とする説、国民と国との契約であるという説などがある。

まとめ

→ 民主主義のもと、税金をどのように出し合うのか、税金をどのように使うのか、みんなの意思で決めています。

→ 税金を、どのように出し合うのかは、なるべく公平になるように工夫されています。出し合った税金は、みんなが安心して生活できる社会をつくるために使われています。

みんなが日本という国の主人公 税金についても、一人一人が考えていくことが大切です。

能動的な社会参加。

(選挙に行こうという結論ではなく、選挙以前に自分の考えをもつ、ということ伝える。)

【コメント例】

(読んだ後) どうしたら、公平に集め、公平に使うことができるのか、難しいことで簡単に結論を出すことはできません。今の大人も一生懸命考えています。

私たちは日本という国の主人公ですので、どんな国にするのか、自ら関わっていく必要があります。

私たちの社会は、私たちで作るんです。

みんなは、どんな社会に住みたいですか？

みんな一人一人が考えて、自分の意見を持ってください。そして、お友達やおうちの人などと話し合ってみてください。

人はそれぞれ違う考えをもっている所以对立もおこります。人の意見をきいて、いい意見を取りいれたり、話し合っでさらに新しい考えを見つけたりしてください。

～最後に質問です～

このクラスに、少し税金と似たものがあります。何だかわかりますか？

答えは「掃除」です。

掃除をするときは、掃除当番を決めますね。掃除をする順番、ほうきで床を掃く人、机や窓を雑巾で拭く人、トイレを掃除する人などをみんなで決めます。いったん決めたら、それぞれの役割に応じて、当番の日は掃除をしなければなりません。

一人一人がみんなのために掃除をがんばると、このクラスみんなが気持ちよく授業を受けることができます。

身近なものにたとえるというのも、理解につながると考えられます。

おわり



近畿税理士会

【コメント例】

これで、今日の租税教室はおしまいです。

(これが税理士バッジです。)